

【例題1】 緑地に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 近年では、地上の緑化だけでなく、屋上および地下通路や建物内などの緑化も重要視されており、これらをまとめて壁面緑化という。
2. 都市には緑地や植物が少ないが人工構造物が多く、生活や生産にともなう排熱が多いため、都市周辺部よりも高温となるビル風が起こり、熱帯夜が増加し乾燥化も起こる。
3. 一般に緑地は土壌の透水性が低く、さらに土壌に雨水をたくわえるため、洪水の危険性を低減できる。
4. 1人あたりの公園面積を比較すると、東京23区の方がアメリカのニューヨークより大きい。
5. ビオトープは、ドイツ語の「ビオ」と「トープ」の合成語で、動植物の生息場所を表す。

【例題2】 野菜の利用部位による分類のうち，果菜類と葉菜類に分類される野菜の正しい組合せとして妥当なのはどれか。

	果菜類	葉菜類
1.	イチゴ	エンドウ
2.	アスパラガス	ホウレンソウ
3.	スイカ	レタス
4.	トマト	ニンジン
5.	ブロッコリー	タマネギ

正答 3